

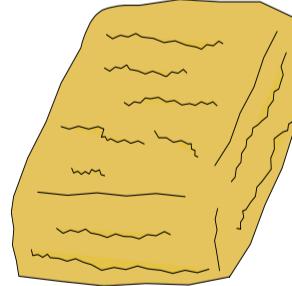
越前町学校給食カレンダー ふるさとの日献立



[2月の給食目標] 協力して時間内に配膳しましょう

2月5日

<p>【献立名】</p> <p>あぶら 油あげごはん ぎゅうにゅう 牛乳 えのきのすまし汁 さわらの西京焼き あおな 青菜の煮びたし けんけら</p> 	<p>【献立について】</p> <p>あさって2月7日は「ふるさとの日」です。福井県は今から139年前の明治14年に生まれました。この日を記念して、今日は、福井県や越前町の特産品、郷土料理を取り入れた「ふるさとの日献立」を給食で味わってください。地場産物の紹介の時に、どんな食品かよく聞いてくださいね。食育という言葉を日本で最初に使った石塚左玄は、その土地に代々伝わる食生活が、わたし達の健康にとってなにより大切なものであるという、「身土不二」の教えを唱えました。石塚左玄は、福井県が誕生した頃の時代を生きた、福井県の偉人です。</p>
<p>【使用地場産物】</p> <p>米 さわら うすあげ あつあげ とうふ ほししいたけ えのきだけ ねぎ こまつな キャベツ けんけら にんじん</p>	<p>福井県の誕生日 2月7日 → 「ふるさとの日」</p>
<p>【なぞなぞ】</p> <p>今日はなぞなぞです。 みその世界で、だれにも負けない強いみそがあります。 このみその名前はなんというでしょうか？？</p>	<p>【解説】</p> <p>なか みその中でだれにも負けない強いみそということで、 さいきょう 西京(最強)みそが正解です。 今日は鰯にその西京味噌をつけて焼きました。 お味はいかがですか？</p> <p>【こたえ】 西京(最強)みそ</p>

<p>☆作ってみましょう☆</p> <p><材料(約5人分)></p> <table><tbody><tr><td>米</td><td>3合</td><td>厚揚げ</td><td>120g</td><td>A</td><td>さとう</td><td>小さじ2弱</td></tr><tr><td>酒</td><td>大さじ1</td><td>薄揚げ</td><td>25g</td><td>しょうゆ</td><td>大さじ1</td></tr><tr><td>しょうゆ</td><td>大さじ2弱</td><td>にんじん</td><td>50g</td><td>酒</td><td>小さじ1/2</td></tr><tr><td></td><td></td><td>干ししいたけ</td><td>5g</td><td>枝豆</td><td>30g</td></tr><tr><td></td><td></td><td>油</td><td>適量</td><td></td><td></td></tr></tbody></table> <p>油揚げごはん</p> <p>※ 学校では、ごはんと具を別々に味付けをして混ぜ合わせています。 家庭で作る場合には、ごはんと一緒に炊いてもおいしく仕上がります。</p> <p><作り方></p> <p>① 米を洗い適量の水を入れ、30分以上置く。 米を炊く時に、大さじ3杯程度の水を捨てて、酒としょうゆを加え、軽く混ぜてから炊く。 ② 薄揚げ・にんじん・もどした干ししいたけは短冊切りにして、厚揚げは角切りにする。 ③ 鍋を温め、油をひき、②をAの調味料で炒め煮にする。 ④ 炊きあがったごはんと、③を混ぜ合わせてできあがり。</p> <p>※分量は正味重量です。また、作りやすい分量に改良してある場合があります。</p>	米	3合	厚揚げ	120g	A	さとう	小さじ2弱	酒	大さじ1	薄揚げ	25g	しょうゆ	大さじ1	しょうゆ	大さじ2弱	にんじん	50g	酒	小さじ1/2			干ししいたけ	5g	枝豆	30g			油	適量			
米	3合	厚揚げ	120g	A	さとう	小さじ2弱																										
酒	大さじ1	薄揚げ	25g	しょうゆ	大さじ1																											
しょうゆ	大さじ2弱	にんじん	50g	酒	小さじ1/2																											
		干ししいたけ	5g	枝豆	30g																											
		油	適量																													